

令和7年度 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（ユニバーサル公演事業）

出演希望調書 No.1（共通）

オレンジ色

入力必須項目です。

みどり色

選択必須項目です。

制作団体名	一般財団法人オペラアーツ振興財団
公演団体名	有限会社アーツ・カンパニー

分野・種目

※応募する企画の主たる分野・種目を1つ選択してください。

分野・種目については、募集要領4ページを御参照ください。

分野	種目
音楽	合唱・オーケストラ等・音楽劇

取り組み（該当する取り組みに○を付してください。）

該当	取り組み
<input checked="" type="checkbox"/>	①障がいのある芸術家が活躍する取り組み
<input type="checkbox"/>	②字幕や音声ガイダンス等を設置するだけでなく、障がいのある子供たちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み

応募する取り組みが①である場合、芸術家が抱える障がいの種類

--

※採択を受けた場合、実施へ向けた調整に当たり、参考とさせていただきます。

応募する区分（該当する区分に○を付してください。）

該当	区分
<input type="checkbox"/>	「D区分」 公演を中心とする企画
<input checked="" type="checkbox"/>	「E区分」 ワークショップを中心とする企画 ※ ワークショップの一環として実演を披露するものを含みます。

実施可能期間 ※原則として令和7年6月2日（月）～令和8年1月30日（金）まで

実施可能期間	<input type="checkbox"/>	全期間：令和7年6月2日 ～ 令和8年1月30日 ※夏休み、年末年始を除く
	<input type="checkbox"/>	～
	<input type="checkbox"/>	～
	<input type="checkbox"/>	～
連日公演の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	←選択してください。

実施可能地域 ※実施可能な地域名の前に○を付してください。(複数選択可)

該当	地域	都道府県	都道府県を限定される場合はこちらに御入力ください。
○	限定なし		
	北海道	北海道	
	東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	
	南関東	埼玉、千葉、東京、神奈川	
	北関東・甲信	茨城、栃木、群馬、山梨、長野	
	北陸	新潟、富山、石川、福井	
	東海	岐阜、静岡、愛知、三重	
	近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	
	中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	
	四国	徳島、香川、愛媛、高知	
	九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島	
	沖縄	沖縄	

団体の概要

【制作団体について】

ふりがな	いっばんざいだんほうじんおぺらあーつしんこうざいだん		
制作団体名	一般財団法人オペラアーツ振興財団		
代表者職/氏名	理事長/山田大輔		
制作団体所在地	〒 187-0042		
	東京都小平市仲町502番地		
制作団体代表電話番号	042-346-9055		
制作団体設立年月	1993	年	3 月
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長:山田大輔 理事:吉原修 他2名 評議員5名	声楽家 演奏・舞台スタッフ:約120名 加入条件:オーディション等を実施	
事務体制:事務(制作専任担当の有無)		他の業務と兼任	
Webサイト等URL	https://opera-arts.or.jp/		
本事業担当者名	藤原規生 山下由佳	本件連絡先:電話番号	042-346-9055
メールアドレス	operarts@classic.interq.or.jp		
経理処理等の監査担当の有無		有	
経理責任者名	大野美音		

【公演団体について】

ふりがな	ゆうげんかいしゃあーつ・かんぱにー
公演団体名	有限会社アーツ・カンパニー
代表者職／氏名	代表取締役／山田大輔
Webサイト等URL	http://www.arts-company.com/

特別支援学校等における活動実績や障がいを持った芸術家の活動を拡げる公演等の活動実績

1998年（平成10年）	オペレッタ「ブレーメンの音楽隊」	森田養護学校（青森県）
1999年（平成11年）	ア・カペラコーラス「V.A.Freedom」	稲荷山養護学校（長野県）
2000年（平成12年）	障害者児と共にミュージカルを観る実行委員会主催公演	
～2005年（平成17年）	オペレッタ「ブレーメンの音楽隊」、オペラ「泣いた赤鬼」、 オペラ「ヘンゼルとグレーテル」、オペラ「アマールと夜の訪問者」実施	
2007年（平成19年）	オペラ「カルメン」	島原養護学校(長崎県)、松橋西養護学校（熊本県）
2009年（平成21年）	オペラ「カルメン」	五稜郭養護学校（北海道）
2013年（平成25年）	オペラ「カルメン」	豊浦総合支援学校（山口県） 浜田養護学校（島根県）
2015年（平成27年）	オペラ「カルメン」	香川丸亀養護学校（香川県） 香川中部養護学校（香川県）
2019年（令和元年）	オーケストラ公演	水元小合学園（東京都）
2020年（令和2年）	打楽器アンサンブル公演	水元小合学園（東京都）
2022年（令和4年）	オペラ「泣いた赤鬼」	八代市立八代支援学校（熊本県） 東京都立光明学園（東京都）
2023年（令和5年）	オペラ「泣いた赤鬼」	京都市内小中学校支援学級（京都府）

※別添「オペラ「泣いた赤鬼」の舞台写真」参照

令和7年度 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（ユニバーサル公演事業）
出演希望調書 No.2（D区分）

オレンジ色	入力必須項目です。	みどり色	選択必須項目です。			
制作団体名	一般財団法人オペラアーツ振興財団					
企画名	童話オペラ『泣いた赤鬼』（参加型）					
主な対象学年 <small>※複数選択は可能ですが企画内容と趣旨が異ならないようお願いいたします。</small>	<input type="radio"/>	小学校：低学年	<input type="radio"/>	小学校：中学年	<input type="radio"/>	小学校：高学年
	<input type="radio"/>	中学校・中等教育学校（前期課程）				
	<input type="radio"/>	特別支援：小学部	<input type="radio"/>	特別支援：中学部	<input type="radio"/>	特別支援：高等部
児童・生徒の鑑賞・体験可能人数の目安	1回の人数		回数			
ワークショップ	※3回まで		40人	1		
本公演	※1校1回まで		500人	まで対応可		
企画の動画等の資料	PW					
URL	https://www.youtube.com/watch?v=8zreSIZR6T4&t=1s					

本公演について

主な演目	童話オペラ『泣いた赤鬼』（参加型）					
原作／作曲	浜田廣介／松井和彦					
脚本	松井和彦					
演出／振付等	山田大輔					
公演時間 (分)	著作権	制作団体が所有				
		<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる			
70分		<input type="radio"/>	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無□			
演目概要	<p>無償の愛を描いた浜田廣介原作「泣いた赤鬼」がオペラになりました。原作の温もりをそのままに、躍動感や感動を深く味わえます。人と鬼とが一緒に暮らすという、多様性を認めあい、共生する社会を描いた児童文学の代表作を、オペラでお楽しみ下さい。</p> <p>【あらすじ】 山奥に住んでいる赤鬼は、人間たちと仲良くなりたと思っていました。そこで「ココロノヤサシイオニノウチデス」と、立て札を家の前に立てましたが、誰も来てくれません。親友の青鬼に相談すると「僕に良い考えがあるよ」と提案してくれました。計画は大成功。おかげで人間たちは赤鬼の家に毎日遊びに来るようになりました。しばらくして赤鬼は青鬼の事が気に入り、家を訪ねると青鬼は留守でした。その代わりに赤鬼宛の置き手紙がしてありました。「……どこまでも君の友だち。青鬼」手紙を読んだ赤鬼は、心から泣いて謝りました。</p> <p>【主な登場人物】 赤鬼（テノール） 青鬼（バリトン） 木こり（バス） 木こりの娘（ソプラノ） 百姓（テノール） 百姓の女房（メゾ・ソプラノ） ナレーター（ソプラノ）</p>					
公演従事予定者の編成 (1公演あたり)	出演者：10名 / 照明：3名 / その他スタッフ：4名 / (合計：17名)					
公演に当たり必要な会場条件	・舞台の設置場所	教室		<input type="radio"/>	体育館	
	・舞台に必要な広さ	9m × 6m 程度				
	・電源容量（主幹ブレーカー容量）	60 A				
	・暗転の要否	<input type="radio"/>	要			不要
	・その他					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		2	時間程度
	到着	仕込み (開始・終了)	本公演 (開始・終了)	内休憩	撤去 (開始・終了)	退出
	9:00	9:00 12:00	13:30 14:50	10分	14:50 16:00	16:30
ワークショップ同日開催の場合は、60分前倒して 11:00～ 60分位で対応						
派遣について	移動方法の制約等	なし				
	運搬規模	2tトラック				

ワークショップについて

内容
1. (朗読) 鬼とナレーターの2人による浜田廣介「泣いた赤鬼」の朗読劇 2. (歌う) 劇中「あかおにさん、あそびませんか」(参加型)の歌唱・演技指導
体制
主指導者：1名 補助：3名
目的とする効果
1. (朗読) 絵本の読み聞かせで期待できる5つの効果 ①心の安定 ②想像力と創造性が育まれる ③言語能力の向上 ④感情表現が豊かになる ⑤集中力の向上 2. (歌う) 音楽を聴いたり、歌うことで期待できる5つの効果 ①ストレス解消 ②筋力の向上 ③免疫力の向上 ④自律神経のバランス ⑤脳内ホルモンの活性化 等の教育効果が期待できる

企画全体について

当ユニバーサル公演事業を実施されるにあたり重点を置くポイントや工夫、対応について御入力ください。

企画のねらい
教科書の教材に取り上げられる「泣いた赤鬼」は、友情のあり方について子どもに伝えたい、考えさせたいという作者の浜田廣介氏のメッセージが込められており、成長過程にある子どもたちが、この作品に触れることで、 ①赤鬼、青鬼、それぞれについて客観的に考え、比較することで、本当の友情とはどういうことなのか気づかせると共に、周りにも自分を思っていて行動してくれている人がいるかもしれないという考えを持てるようになる。また、 ②赤鬼が青鬼の置き手紙を読んで涙を流して思った場面を自己投影させることで、赤鬼の青鬼への思いの変化や思いの深まりに触れることができ、そこから自身の思っていた友情と照らし合わせることで、友達のあり方についてより良い友達関係を築くには、相手から何かをしてもらうだけでなく、友達を心から思い行動することの大切さに気づくことができる作品であるといえる。 このような無償の愛を描いた作品を更に、オペラ(音楽や演技)として鑑賞することで、目的とする効果で記入した通り、子どもたちにとって様々な効果を生み、情操を育める等、授業では得られないより深い学びの体験事業となる。
特別支援学校等での実施における工夫等
様々な障がいを抱えた子どもたちへの配慮として ①照明効果を高める暗幕の使用 の低減 ②音響効果を高めるための打楽器の使用 の低減 ③集中力を高めるために小休止を多めに取ったり、演奏時間を削る 等の相談に応じることができる。
取り組み②で応募する場合、特に重点的に取り組んできた課題(障がいの種類等)
字幕はあくまで補足として捉え、 ①視覚障害を持ったおこさまには、発声や発音に気を遣い、歌やセリフをより明確にする。また ②聴覚障害を持ったおこさまには、表現や表情に深みを増し、演技をよりと明確にさせることにより、本来持つオペラ歌手の発声や演技、音楽表現によって最大限の効果を得られるよう取り組んでいる。
協力・連携機関及び団体内における専門員の配置等□

オペラ「泣いた赤鬼」

作曲 | 松井和彦



【令和7年度学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業-ユニバーサル公演-実施条件等確認書(No.1)】

ID*	UN17_06	企画名	童話オペラ『泣いた赤鬼』(参加型)		
制作団体名	一般財団法人オペラアーツ振興財団		公演団体名	有限会社アーツ・カンパニー	

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等					応相談			
控室について	必要数*	2室	条件	昼食、メイク等で使用		可			
前日仕込みについて*		あり	補足	午前公演となった場合は、前日仕込み		可			
搬入について	来校する車両の大きさや台数*		2トラック	1台	中～大型バ	1台	可		
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細		バスが学校内に入れない場合はバス会社と相談して乗降場所を検討						
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ		2トラックロングワイドハイ				不可		
	搬入車両の横づけの要否*		要				可		
	横づけができない場合の搬入可能距離*		10m以内				可		
	搬入経路の最低条件		雨に濡れないルート確保、例えば渡り廊下のように屋根の有無など				可		
	理由		舞台装置、照明機材、衣装、楽器などを慎重に取り扱いたため。重量のあるものも多く、可能な限り搬入口に近い距離を希望						
	設置階の制限*		可能な限り1階を希望				可		
	搬入間口について 単位：メートル		幅	1.2m	高さ	1.8m	可		
会場設営について	舞台設置場所*		ステージ、フロアの両方				可		
	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル		幅	10m	奥行	6m	高さ	3m	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保*		要				可	
		舞台袖スペースの条件*		荷物等の整理、清掃(特に埃)				可	
		緞帳*	要		バトン*	要		可	
	遮光(暗幕等)の要否*		要	理由	照明効果を高めるため			可	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動*		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			可	
		ピアノの事前調律*		要				可	
	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況*		ステージ正面にある場合は不可			不可	
	公演に必要な電源容量		60A	※主幹電源の必要容量			可		
その他特記事項						応相談			

②会場図面(表記単位：メートル)

搬入間口について	幅	1.2	高さ	1.8
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

